

クリニックレター 2022年9月

〒663-8113 西宮市甲子園口2-8-31 医療法人岐黄会西本クリニック

TEL:0798-65-5111 FAX:0798-65-5115 HP: <http://www.nishimotoclinic.jp/>

このクリニックレターは、西本クリニックから患者様への情報を、すばやく、わかりやすくお伝えするためのお手紙です。原則月1回の発行で、スタッフが皆さんに知っていただきたい事をビビッドに発信していきます。

11月以降の外来担当医変更のお知らせ

長年にわたり当院で漢方内科・婦人科外来を担当していただいた武内睦子 Dr が10月いっぱいまで退職されるにあたり、11月以降の外来担当を以下のように変更いたします。

■漢方内科・女性外来

浅井淑子医師(専門は婦人科): 第2木曜午前、第4木曜午後、第4土曜

松岡由里子医師(新任: 専門はペイン): 第3土曜日

■田川医師は第1土曜のみに変更

■院長外来及び心療内科外来(水野医師、藤田医師、大林医師)はこれまで通り

新型コロナワクチン関連情報

8月24日のニュースで、アメリカのFDA(日本の厚生労働省にあたる機関)が、オミクロン変異株BA.5、及びBA.6に効果があるとされるファイザー社及びモデルナ社の新しいワクチンに対して使用を認める方針、とのニュースが入ってきました。但しこれは、“emergency authorization”すなわち、緊急的な措置であるということです。しかしこのニュースは日本ではほとんど報道されていません。日本でも10月からオミクロン株対応ワクチンが供給されると政府はマスクミを通じて喧伝していますが、このワクチンは残念ながら、BA.1 BA.2対応のワクチンの為、現在感染の主体となっているBA.5変異株に対してはこれまでのワクチンと大きな違いがないと考えられます。この、「世界から半周遅れ、いや3/4周遅れ感」は、今の日本の世界におけるポジションをよく表しているなあ、と感じるのは私だけでしょうか・・・

当院では帯状疱疹ワクチン、肺炎球菌ワクチンのご予約も受け付けています

漢方薬の効能・効果とは

すべての医薬品には「添付文書」といって、そのお薬の成分や薬効、副作用、配合禁忌などを記載した文書を作成し、公開することが法律で定められており、漢方薬も例外ではありません。医師が医療保険を用いて処方することのできる漢方エキス剤(正しくは医療用漢方製剤)に関しては、同じ処方であっても、さまざまな製薬会社が製造または販売をしているので、添付文書の数もそれだけあることとなります。今回は、漢方薬の添付文書に書かれている(お薬の)[効能・効果]についての話題です。



甘麦大棗湯(かばくたいとう)というお薬があります。

生薬構成は、甘草、小麦、大棗の3種類といういたってシンプルな処方です。漢方大手のK社(左) T社(右)の添付文書の一部をコピーしてみました。[組成・性状]の項目を見ても、K社、T社ともお薬の内容はほぼ同じであることが見てとれると思います。ところが、このあとに記載されている[効能 効果]をみると、K社は「小児及び婦人の神経症、不眠症」 T社は「夜泣き ひきつけ」と書かれています。おなじ薬なのに、T社の甘麦大棗湯は夜泣きやひきつけに対してでないと思っただけか? とか、K社の薬は、成人男性には効かないの? などと、さまざまなツッコミが浮かんでくるのではないのでしょうか?

【組成・性状】	
* (1) 組成	
本剤9.0g中	
日局 カンゾウ.....5.0g	
日局 タイソウ.....6.0g	
ショウバク.....20.0g	
上記の混合生薬より抽出した甘麦大棗湯の水製乾燥エキス6.3gを含有する。	
添加物としてステアリン酸マグネシウム、トモロコシデンプン、乳糖水和物、プルラン、メタケイ酸アルミン酸マグネシウムを含有する。	
(2) 製剤の性状	
本剤は褐色～淡褐色の細粒で、特異なにおいがあり、味は甘い。	
識別コード: N72	

【組成・性状】	
組成	本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.25gを含有する。
	日局タイソウ.....6.0g ショウバク.....20.0g 日局カンゾウ.....5.0g
添加物	日局ステアリン酸マグネシウム、日局乳糖水和物
性状	剤形 顆粒剤
	形 淡褐色
	におい 特異なにおい
	味 甘い
識別コード	ツムラ/72

同じようなことは、他の処方でもいくつも見られます。

例えば、**香蘇散(カウソウ)**という処方、T社の添付文書では「胃腸虚弱で神経質の人の風邪の初期」としか書かれていませんが、K社では「神経質で、頭痛がして、気分がすぐれず食欲不振を訴えるもの、あるいは頭重、めまい、耳鳴を伴うもの。感冒、頭痛、ジンマ疹、神経衰弱、婦人更年期神経症、神経性月経困難症」と実に様々な症状疾患が記載されています。

「添付文書」って公的書類なのに、同じ内容の薬の効き目がメーカーによって異なるなんておかしいですね。これは、昭和30-40年代にかけて、漢方薬がある意味超法規的に薬価収載(健康保険で使えるようになること)された際に、当時のメーカーや漢方界の大御所たちのいわば言いなりでお役人が[効能・効果]を決めてしまったからなのです。当然のことながら我々漢方専門医は、添付文書に書かれた効能効果は参考にはしますが、実際には、もっと根源的な方剤運用をしているのです・・・というようなお話はまた次回に持ち越しとさせていただきます。

休診のお知らせ

9月20日(火)、24日(土)を休診とさせていただきます。

9月22日(木)は院長診のみ休診です。

お車で来院される患者様へ

歩行者や近隣の方の迷惑になりますので、駐車場の指定されたスペース以外、及びクリニック周辺の道路には、駐車されないようにお願いします。駐車中のアイドリングもおやめください。駐車場に空きがない場合は周辺のコインパーキングをご利用ください。